



つながぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和4年9月13日

第11号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

小中一貫教育を本格導入 江別第二中学校区 ～取組のフラッシュアップを図る～

昨年度までモデル校区として先行実践を進め、今年度から小中一貫教育を本格的に導入している江別第二中学校区では、各種取組の改善・充実を図っています。

まず、令和4年度のスタートにあたり、「目指す子ども像」に加えてより具体的な目標・指標となる「サブ目標」を設定しました。また、推進体制の改善のため校務分掌（校内の業務分担）に小中一貫教育の内容を位置付けて、例えば教務係間、児童生徒会活動係間等で直接的に連絡・調整を行うことができるようにしました。さらに、「系統的な指導」の充実を図るため、学力検査等の分析・交流をもとにして、特に小中で重点的に指導が必要と考えられる単元等を明確にし、教科系統表と年間指導計画を改訂しました。また、小学校低・中学年も義務教育9年間のつながりを意識した指導・活動となるように、2年生生活科や3年生社会科の学習活動に「中学校探検」を組み入れています。

他にも中学校登校体験の内容を充実したり、「えべつ型コミュニティ・スクール」の学校運営委員会を合同開催して小中一貫教育に関する熟議を行ったりする等、「1小1中」で校舎が隣接している利点を生かして様々な取組を推進しています。

2回目の中学校登校…中一ギャップの緩和と自己肯定感の高揚

5月の1回目につき、8月18日（木）に今年度2回目の中学校登校が行われました。小学生は直接中学校へ登校し、1校時は校内・授業見学、2校時は音楽科の授業、3校時は体育科の授業を体験しました。1回目よりも滞在時間を長くし、子どもたちが少しずつ中学校に慣れていくように工夫しています。

校内・授業見学では、1年生や3年生の教室に入って授業の様子を実際に見たり、授業の質問に答えたりしていました。音楽科の授業は、中学校の先生の指導の下、中学1年生と合同学習を行いました。初めに中学生が中学校の校歌を披露し、次に4グループに分かれて一緒に歌いました。練習の中で中学生が小学生に指導していくうちに、少しずつ歌声が大きくなっていきました。6年生にとっては、入学前に校歌を知ることで中学校生活への安心感を少し得ることができたと思います。後半は、中学1年生が合唱コンクールで歌う課題曲「カリブ夢の旅」のパート練習を参観しました。中学生が自分たちでパート練習に取り組む姿を参観し、合唱の素敵な歌声を聴くことは、6年生の子どもたちにとって貴重な経験となりました。最後は、学習の



朝から中学校へ登校



中学生の授業を参観



小中合同音楽の授業



小中合同体育の授業

まとめとして再度小中学生一緒に校歌を歌いました。音楽科の先生から「これからの小学校生活も頑張ってください。入学後、皆さんと校歌を歌うことができるのを楽しみにしています。」とのお話があり、体育館に小学生の「ありがとうございました。」の音が響きました。

体育科の授業は、中学校の陸上記録会の種目の一つである「長縄跳び」を小中合同の6つのグループに分かれて行いました。中学1年生は、普段は上級生から教えられる立場ですが、今回の活動では先輩としてリーダーシップを発揮し、積極的に小学生にアドバイスや励ましの言葉かけをする姿が見られました。小中一貫教育の具体的な効果の一つである中学生の自己肯定感の高揚が達成される活動となりました。

<小学生の感想>

- 中学生が真剣に、楽しそうに授業していて、いいなあと思いました。音楽も算数も、国語も外国語も内容がレベルアップしただけで小学校と変わらなく、楽しそうだったので、僕もこんな学校に行きたいな～と思いました。どんな雰囲気か知ることができて、スタートダッシュはバッチリ（特に校歌とか）だと思います。内心不安だったけれど明るい雰囲気を見るとそれが嘘のように消えて、また中学校体験に行きたいな～と思いました。
- 最初に入ったときは、この前と同じように挨拶をしてくれたり、2年生の教室を案内してくれたりして迷わずに行くことができました！そして、音楽の時も、体育の時も、わかりやすく説明してくれたのですぐに行くことができたので、すごく嬉しかったです！
- 中学生の授業を見れば見るほどよくわからなくなって何がなんだかわからなくて、英語なんか、何を言っているのかわからなかったから、レベルが違うなと感じました。だから中学校に行けるように頑張ろうと思いました。

児童会生徒会合同挨拶運動

8月23日（火）の朝、児童会と生徒会合同の挨拶運動を行いました。伝統的に行われている活動で、中学生の素晴らしい挨拶を見習って、小学生の挨拶運動も自主的に展開されるようになる等、気持ちの良い挨拶がどんどんひろがっています。



小学校で一緒に挨拶運動！

江別第二小2年生の「二中たんけん」

小学2年生の生活科の学習として「二中たんけん」の活動を行いました。活動内容は①中学校の校舎見学、②授業参観、③中学校の先生への「質問コーナー」の3つです。「大休みはありますか。」「部活動は何時までですか。」「宿題は何枚ですか。」等の質問があり、子どもたちは活動を通して様々な「気づき」を抱きました。小学校低学年と中学校をつなぐ工夫した取組です。



「中学生はすごいなあ」

「えべつ型CS」学校運営委員会の合同開催

江別第二中学校区では、小中一貫教育の推進に資するため、「えべつ型コミュニティ・スクール」の学校運営委員会を小中合同で開催しています。小中学校の学校運営委員の方々に経営方針や小中一貫教育等について熟議をいただき、貴重なご意見等をいただきました。



合同の学校運営委員会

<学校運営委員の方々の意見等>

- 昨年度の紙面開催では、見えにくかった小中一貫教育の姿が、今回の説明でよくわかった。
- 小と中でカリキュラムでもつながりができていることを嬉しく感じる。
- 学校側から「やりたいこと」を運営委員に伝えてほしい。
- 小中が一緒に取り組むことで、PTA活動もスリム化できるところがあると思う。